

学校コード

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

金沢学院大学 教育学部 教育学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人金沢学院大学

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

キカクフ サンジ イシカワ アツシ
企画部参事 石川 温

電話番号

076 - 229-8892

（夜間）

076 - 229-8892

e-mail

kikaku@kanazawa-gu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

教育学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金沢学院大学

(2) 大学名

金沢学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1392

石川県金沢市末町10の5番地の1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成29年1月)		
学長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成25年4月)		
学部長	(タダ タカシ) 多田 孝志 (令和4年4月)		
学科長等	(カサマ ヒロミ) 笠間 弘美 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4 年	70 人	3年次 5 人	290 人	新規入学者を募集中	文学部 教育学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	70 -	1.02倍	—
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	398 -		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	391 -		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	263 -		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	72 -		
入学定員超過率 B/A													1.02		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次									72 [-]	- [-]	
2年次											
3年次											
4年次											
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	72 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
令和3年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
令和4年度	72 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	— 人	— 人	
			令和3年度	— 人	— 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{72} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	教職入門Ⅰ	1前	1			1	2	1					
	教職入門Ⅱ	1後	1			1	2	1					
	教職入門Ⅲ	2前	1			1	2	1					
	教職入門Ⅳ	2後	1			1	2	1					
	コンピュータ基礎演習	1前	2					1					
	日本国憲法	1後	2									1	
	哲学	1後		2								1	
	社会学	1後		2								1	
	地理学	2後		2								1	
	体育理論	1前	1					1					
	体育実技	2後	1						1				
	英語Ⅰ	1前	2			1	2						
	英語Ⅱ	1後	2			1	2						
	小計(13科目)	-		14	6		1	4	4	2			4
専門科目	教職基幹科目	教職論	1前	2				1					
		教育原理	1後	2			1						
		教育心理学	1後	2			1						
		教育経営概論	2前	2			1						
		教育課程論	2前	2				2					
		教育方法・技術論	2後	2					1				
	小計(6科目)	-		12	0		2	2	2				
	小学校・中学校教諭専門科目	道德教育の指導法	3後		2			1					
		特別活動の理論と実践	3後		2		1						
		総合的な学習の時間の指導法	3後		2		2	1	1				
		生徒・進路指導論	3前		2			1					
		初等教科教育法(国語)	2後		2		1	1					
		初等教科教育法(社会)	2前		2		1						
		初等教科教育法(算数)	2後		2								1
初等教科教育法(理科)		3前		2		1							
初等教科教育法(生活)		3前		2								1	
初等教科教育法(音楽)		2前		2				1					
初等教科教育法(図画工作)	3前		2				1						
初等教科教育法(家庭)	3後		2								1		
初等教科教育法(体育)	3後		2				1						
初等教科教育法(英語)	3後		2			1							
英語科教育法Ⅰ	2通		4								1		
英語科教育法Ⅱ	3通		4								1		
小計(16科目)	-		36		3	2	4					4	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	教職入門Ⅰ	1前	1					3	2	1			
	教職入門Ⅱ	1後	1					3	2	1			
	教職入門Ⅲ	2前	1					0	2	1			
	教職入門Ⅳ	2後	1					0	2	1			
	コンピュータ基礎演習	1前	2							1			
	日本国憲法	1後	2									1	
	哲学	1後		2								1	
	社会学	1後		2								1	
	地理学	2後		2								1	
	体育理論	1前	1						1				
	体育実技	2後	1								1		
	英語Ⅰ	1前	2					1	2				
	英語Ⅱ	1後	2					1	2				
	小計(13科目)	-		14	6		1	3	4	2			4
専門科目	教職基幹科目	教職論	1前	2					1	0			
		教育原理	1後	2			1						
		教育心理学	1後	2			1						
		教育経営概論	2前	2			1						
		教育課程論	2前	2				2					
		教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む)	2後	2						1			
	小計(6科目)	-		12	0		2	3	1				
	小学校・中学校教諭専門科目	道德教育の指導法	3後		2				1				
		特別活動の理論と実践	3後		2		1						
		総合的な学習の時間の指導法	3後		2				3	0	1		
		生徒・進路指導論	3前		2					1			
		初等教科教育法(国語)	2後		2		1	1					
		初等教科教育法(社会)	2前		2		1						
		初等教科教育法(算数)	2後		2						1		0
初等教科教育法(理科)		3前		2		1							
初等教科教育法(生活)		3前		2								1	
初等教科教育法(音楽)		2前		2						1		1	
初等教科教育法(図画工作)	3前		2						1				
初等教科教育法(家庭)	3後		2								1		
初等教科教育法(体育)	3後		2						1				
初等教科教育法(英語)	3後		2				1						
英語科教育法Ⅰ	2通		4					1			0		
英語科教育法Ⅱ	3通		4					1			0		
小計(16科目)	-		36		3	3	5					3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
幼稚園教諭・保育士専門科目	保育原理	1後		2				1				
	保育課程論	2前		2			1					
	子ども家庭福祉	3後		2			1					
	社会福祉	1前		2			1					
	社会的養護 I	2後		2			1					
	保育者論	1前		2				1				
	保育の心理学	2前		2		1						
	子ども家庭支援の心理学	3後		2								1
	子どもの理解と援助	2後		1		1						
	子どもの保健	3前		2								1
	子どもの健康と安全	4前		1								1
	子どもの食と栄養	3後		2								1
	子ども家庭支援論	3後		2			1					
	保育内容総論	1前		1			1					
	保育内容(健康)	2前		2					1			
	保育内容(人間関係)	2後		2			1					
	保育内容(環境)	2後		2					1			
	保育内容(ことば)	2前		2		1						
	保育内容(表現)	2後		2				2				
	保育内容演習(健康)	2後		1					1			1
	保育内容演習(人間関係)	3前		1			1					
	保育内容演習(環境)	3前		1					1			
	保育内容演習(ことば)	2後		1		1						
	保育内容演習(表現)	3前		1				2				
	幼児理解と教育相談	2前		2		1						
	乳児保育 I	1後		2					1			
	乳児保育 II	2後		1					1			
	社会的養護 II	3前		1			1					
	子育て支援	2後		1								1
	幼児・児童文化	2後		1			1					
	表現演習 I	3前		1				1				
	表現演習 II	3前		1					1			
小計(32科目)	—		50		2	2	3	2			5	
教科専門科目	国語(書写含む)	2前		2		1						
	社会	1後		2		1						
	算数	1前		2							1	
	理科	2後		2		1						
	生活	2前		2							1	
	音楽基礎	1前		2				1				
	図画工作	1後		2				1				
	体育 I	1前		2					1			
	体育 II(リズムダンス)	1後		1					1			
	家庭	2前		2								1
	小学校英語	2後		2			1					
小計(11科目)	—		21		3	1	2	1			3	
英語学概論	1前		2		1							
英語文法論	1後		2		1							
英語文法演習	3前		2		1							
英米文学概論	2前		2			1					1	
英米文学史	2前		2			1					1	
英米文学講読	3前		2			1					1	
英米文学演習	4後		2			1					1	
言語習得研究	4前		2			1						
英語表現 I	3前		2		1							
英語表現 II	3後		2		1							
English Writing	3後		2								1	
小計(11科目)	—		22		1	2					1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
幼稚園教諭・保育士専門科目	保育原理	1後		2				1	0			
	保育課程論	2前		2			1					
	子ども家庭福祉	3後		2			0					1
	社会福祉	1前		2			0					
	社会的養護 I	2後		2			0					
	保育者論	1前		2			1	0				
	保育の心理学	2前		2		1						
	子ども家庭支援の心理学	3後		2								1
	子どもの理解と援助	2後		1		1						
	子どもの保健	3前		2								1
	子どもの健康と安全	4前		1								1
	子どもの食と栄養	3後		2								1
	子ども家庭支援論	3後		2			0					
	保育内容総論	1前		1			1					
	保育内容(健康)	2前		2					1			
	保育内容(人間関係)	2後		2			1					
	保育内容(環境)	2後		2						1		
	保育内容(ことば)	2前		2		1						
	保育内容(表現)	2後		2					2			
	保育内容演習(健康)	2後		1						1		1
	保育内容演習(人間関係)	3前		1			1					
	保育内容演習(環境)	3前		1						1		
	保育内容演習(ことば)	2後		1		1						
	保育内容演習(表現)	3前		1					2	1		
	幼児理解と教育相談	2前		2		1						
	乳児保育 I	1後		2						1		
	乳児保育 II	2後		1						1		
	社会的養護 II	3前		1			0					
	子育て支援	2後		1								1
	幼児・児童文化	2後		1			1					
	表現演習 I	3前		1					1			
	表現演習 II	3前		1						1		
小計(32科目)	—		50		2	2	2	2	2		5	
教科専門科目	国語(書写含む)	2前		2		1						
	社会	1後		2		1						
	算数	1前		2					1			0
	理科	2後		2		1			1			
	生活	2前		2								1
	音楽基礎	1前		2					1			
	図画工作	1後		2					1			
	体育 I	1前		2							1	
	体育 II(リズムダンス)	1後		1							1	
	家庭	2前		2								1
	小学校英語	2後		2					1			
小計(11科目)	—		21		3	1	3	1			2	
英語学概論	1前		2		1							
英語文法論	1後		2		1							
英語文法演習	3前		2		1							
英米文学概論	2前		2					0			1	
英米文学史	2前		2					0			1	
英米文学講読	3前		2					0			1	
英米文学演習	4後		2					0			1	
言語習得研究	4前		2					1				
英語表現 I	3前		2		1							
英語表現 II	3後		2		1							
English Writing	3後		2								1	
小計(11科目)	—		22		1	2		1			2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル人材の育成	国際理解教育概論	1前	2			1						
	多文化理解概論	3前		2		1						
	文化比較論	1後		2		1						
	地球市民論	3後	2					1				
	グローバル対話論	2後	2			1						
	生物多様性概説	3前		2							1	
	海外英語教材比較研究	3前		2			1					
	小学校英語教育概論	2後		2			1					
	英語プレゼンテーション	3後		2								1
	英語コミュニケーションⅠ	2前		2			1					
	英語コミュニケーションⅡ	2後		2			1					
	多文化共生社会と保育	4前		2		3	3	2				
小計(12科目)	—	6	18		1	4	3	2			2	
新課題対応力の育成	ICT活用教育概論	1後	2					1				
	デジタル教材開発	3後		2				1				
	ICT活用とインクルーシブ教育	3前		2		1		1				
	「チーム学校」と学校組織マネジメント	2前	2			1						
	地域協働と学校の役割	3前		2		2	1	1				
	スクールソーシャルワーク論	3後		2			1					
	特別支援教育総論	2前	2			1						
	教育相談	1後		2		1						
	障がい児保育	3前		2		1						
	障がい児教育	2後		2		1						
小計(10科目)	—	6	14		3	2	2					
実習関連科目	学校インターンシップ	1後		2		1		1	1			
	保育インターンシップ	1後		2				2	1			
	保育実習Ⅰ(保育所)	3通		2				2	1			
	保育実習Ⅰ(施設)	3通		2		1	1	1				
	保育実習Ⅱ	3通		2			2	1				
	保育実習Ⅲ	4通		2		1	1	1				
	保育実習指導Ⅰ	3通		2		1	1	1				
	保育実習指導Ⅱ	3通		1			2	1				
	保育実習指導Ⅲ	4通		1		1	1	1				
	教育実習Ⅰ(幼)	3後		2		1	2	1				
	教育実習Ⅱ(幼)	4前		2		1	2	1				
	教育実習指導Ⅰ(幼)	3前		1		1	2	1				
	教育実習指導Ⅱ(幼)	4前		1		1	2	1				
	教育実習(小)	4前		4			2	1				
	教育実習指導(小)	4前		1			2	1				
	教育実習Ⅰ(中)	4前		2		1	1					
	教育実習Ⅱ(中)	4後		2		1	1					
	教育実習指導Ⅰ(中)	4前		1		1	1					
	教育実習指導Ⅱ(中)	4後		1		1	1					
	保育・教職実践演習(幼)	4後		2		1	2	1				
	教職実践演習(幼・小・中)	4後		2		1	3					
小計(21科目)	—		37		1	3	5	2				
セミナー・卒業研究	教育学基礎セミナーⅠ	3前	1			4	5	5	2			
	教育学基礎セミナーⅡ	3後	1			4	5	5	2			
	教育学セミナーⅠ	4前	1			4	5	5	2			
	教育学セミナーⅡ	4後	1			4	5	5	2			
	卒業研究	4通	2			4	5	5	2			
	小計(5科目)	—	6			4	5	5	2			
合計(137科目)	—	44	204	0	6	5	5	2			18	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
グローバル人材の育成	国際理解教育概論	1前	2			1						
	多文化理解概論	3前		2		1						
	文化比較論	1後		2		1	0					
	地球市民論	3後	2						1			
	グローバル対話論	2後	2			1						
	生物多様性概説	3前		2								1
	海外英語教材比較研究	3前		2			1					
	小学校英語教育概論	2後		2			1					
	英語プレゼンテーション	3後		2			1					0
	英語コミュニケーションⅠ	2前		2			1					
	英語コミュニケーションⅡ	2後		2			1					
	多文化共生社会と保育	4前		2		3	2	2				
小計(12科目)	—	6	18		1	4	2	2			1	
新課題対応力の育成	ICT活用教育概論	1後	2					1				
	デジタル教材開発	3後		2				1				
	ICT活用とインクルーシブ教育	3前		2		1		1				
	「チーム学校」と学校組織マネジメント	1後	2			1						
	地域協働と学校の役割	3前		2		2	1	1				
	スクールソーシャルワーク論	3後		2			0					
	特別支援教育総論	2前	2			1						
	教育相談	1後		2		1						
	障がい児保育	3前		2		1						
	障がい児教育	2後		2		1						
小計(10科目)	—	6	14		3	1	2					
実習関連科目	学校インターンシップ	1後		2		1		1	1			
	保育インターンシップ	1後		2				1	1	1		
	保育実習Ⅰ(保育所)	3通		2				1	1	1		
	保育実習Ⅰ(施設)	3通		2		1	1	1				
	保育実習Ⅱ	3通		2			2	1				
	保育実習Ⅲ	4通		2		1	1	1				
	保育実習指導Ⅰ	3通		2		1	1	1				
	保育実習指導Ⅱ	3通		1			2	1				
	保育実習指導Ⅲ	4通		1		1	1	1				
	教育実習Ⅰ(幼)	3後		2		1	2	1				
	教育実習Ⅱ(幼)	4前		2		1	2	1				
	教育実習指導Ⅰ(幼)	3前		1		1	2	1				
	教育実習指導Ⅱ(幼)	4前		1		1	2	1				
	教育実習(小)	4前		4			2	1				
	教育実習指導(小)	4前		1			2	1				
	教育実習Ⅰ(中)	4前		2		1	1					
	教育実習Ⅱ(中)	4後		2		1	1					
	教育実習指導Ⅰ(中)	4前		1		1	1					
	教育実習指導Ⅱ(中)	4後		1		1	1					
	保育・教職実践演習(幼)	4後		2		1	2	1				
	教職実践演習(幼・小・中)	4後		2		1	3					
小計(21科目)	—		37		1	3	5	2				
セミナー・卒業研究	教育学基礎セミナーⅠ	3前	1			4	4	4	2			
	教育学基礎セミナーⅡ	3後	1			4	4	4	2			
	教育学セミナーⅠ	4前	1			4	4	4	2			
	教育学セミナーⅡ	4後	1			4	4	4	2			
	卒業研究	4通	2			4	4	4	2			
	小計(5科目)	—	6			4	4	4	2			
合計(137科目)	—	44	204	0	6	5	5	2			15	

卒業要件及び履修方法

教養科目から必修14単位、専門科目から必修30単位を含む128単位以上を修得すること。なお、上記必修科目のほか、教員免許及び保育士の資格を取得するためには、以下の通り単位を修得すること。

○保育士資格

「保育原理」「保育課程論」「子ども家庭福祉」「社会福祉」「社会的養護Ⅰ」「保育者論」「保育の心理学」「子ども家庭支援の心理学」「子どもの理解と援助」「子どもの保健」「子どもの健康と安全」「子どもの食と栄養」「子ども家庭支援論」「保育内容総論」「保育内容指導演法(健康)」「保育内容指導演法(人間関係)」「保育内容指導演法(環境)」「保育内容指導演法(言葉)」「保育内容指導演法(表現)」「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」「社会的養護Ⅱ」「子育て支援」「幼児・児童文化」「表現演習Ⅰ」「表現演習Ⅱ」「体育Ⅱ(リズムダンス)」「障がい児保育」「保育実習Ⅰ(施設)」「保育実習Ⅰ(保育所)」「保育実習指導Ⅰ」「保育・教職実践演習(幼)」の全ての単位を修得し、さらに、「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現」「幼児理解と教育相談」のうち6単位以上と、「保育実習Ⅱ」および「保育実習指導Ⅱ」の2科目3単位もしくは「保育実習Ⅲ」および「保育実習指導Ⅲ」の2科目3単位を修得すること。

○幼稚園教諭一種免許状

「保育内容総論」「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現」「保育内容指導演法(健康)」「保育内容指導演法(人間関係)」「保育内容指導演法(環境)」「保育内容指導演法(言葉)」「保育内容指導演法(表現)」「幼児理解と教育相談」「教育実習Ⅰ(幼)」「教育実習Ⅱ(幼)」「教育実習指導Ⅰ(幼)」「教育実習指導Ⅱ(幼)」の全ての単位と、「保育・教職実践演習(幼)」または「教職実践演習(幼・小・中)」のどちらかを修得すること。
さらに、「保育者論」「保育原理」「保育課程論」「幼児・児童文化」「表現演習Ⅰ」「表現演習Ⅱ」「体育Ⅱ(リズムダンス)」「障がい児保育」から、10単位以上を修得すること。

○小学校教諭一種免許状

「道德教育の指導演法」「特別活動の理論と実践」「総合的な学習の時間の指導演法」「生徒・進路指導演論」「初等教科教育法(国語)」「初等教科教育法(社会)」「初等教科教育法(算数)」「初等教科教育法(理科)」「初等教科教育法(生活)」「初等教科教育法(音楽)」「初等教科教育法(図画工作)」「初等教科教育法(家庭)」「初等教科教育法(体育)」「初等教科教育法(英語)」「国語(書写含む)」「社会」「算数」「理科」「生活」「音楽基礎」「図画工作」「体育Ⅰ」「家庭」「小学校英語」「教育相談」「教育実習(小)」「教育実習指導(小)」「教職実践演習(幼・小・中)」の全ての単位を修得すること。

○中学校一種免許状(英語)

「道德教育の指導演法」「特別活動の理論と実践」「総合的な学習の時間の指導演法」「生徒・進路指導演論」「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英米文学概論」「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「多文化理解概論」「英語学概論」「英語文法論」「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語プレゼンテーション」「教育相談」「教育実習Ⅰ(中)」「教育実習Ⅱ(中)」「教育実習指導Ⅰ(中)」「教育実習指導Ⅱ(中)」「教職実践演習(幼・小・中)」の全ての単位を修得すること。

卒業要件及び履修方法

教養科目から必修14単位、専門科目から必修30単位を含む128単位以上を修得すること。なお、上記必修科目のほか、教員免許及び保育士の資格を取得するためには、以下の通り単位を修得すること。

○保育士資格

「保育原理」「保育課程論」「子ども家庭福祉」「社会福祉」「社会的養護Ⅰ」「保育者論」「保育の心理学」「子ども家庭支援の心理学」「子どもの理解と援助」「子どもの保健」「子どもの健康と安全」「子どもの食と栄養」「子ども家庭支援論」「保育内容総論」「保育内容指導演法(健康)」「保育内容指導演法(人間関係)」「保育内容指導演法(環境)」「保育内容指導演法(言葉)」「保育内容指導演法(表現)」「乳児保育Ⅰ」「乳児保育Ⅱ」「社会的養護Ⅱ」「子育て支援」「幼児・児童文化」「表現演習Ⅰ」「表現演習Ⅱ」「体育Ⅱ(リズムダンス)」「障がい児保育」「保育実習Ⅰ(施設)」「保育実習Ⅰ(保育所)」「保育実習指導Ⅰ」「保育・教職実践演習(幼)」の全ての単位を修得し、さらに、「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現」「幼児理解と教育相談」のうち6単位以上と、「保育実習Ⅱ」および「保育実習指導Ⅱ」の2科目3単位もしくは「保育実習Ⅲ」および「保育実習指導Ⅲ」の2科目3単位を修得すること。

○幼稚園教諭一種免許状

「保育内容総論」「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現」「保育内容指導演法(健康)」「保育内容指導演法(人間関係)」「保育内容指導演法(環境)」「保育内容指導演法(言葉)」「保育内容指導演法(表現)」「幼児理解と教育相談」「教育実習Ⅰ(幼)」「教育実習Ⅱ(幼)」「教育実習指導Ⅰ(幼)」「教育実習指導Ⅱ(幼)」の全ての単位と、「保育・教職実践演習(幼)」または「教職実践演習(幼・小・中)」のどちらかを修得すること。
さらに、「保育者論」「保育原理」「保育課程論」「幼児・児童文化」「表現演習Ⅰ」「表現演習Ⅱ」「体育Ⅱ(リズムダンス)」「障がい児保育」から、10単位以上を修得すること。

○小学校教諭一種免許状

「道德教育の指導演法」「特別活動の理論と実践」「総合的な学習の時間の指導演法」「生徒・進路指導演論」「初等教科教育法(国語)」「初等教科教育法(社会)」「初等教科教育法(算数)」「初等教科教育法(理科)」「初等教科教育法(生活)」「初等教科教育法(音楽)」「初等教科教育法(図画工作)」「初等教科教育法(家庭)」「初等教科教育法(体育)」「初等教科教育法(英語)」「国語(書写含む)」「社会」「算数」「理科」「生活」「音楽基礎」「図画工作」「体育Ⅰ」「家庭」「小学校英語」「教育相談」「教育実習(小)」「教育実習指導(小)」「教職実践演習(幼・小・中)」の全ての単位を修得すること。

○中学校一種免許状(英語)

「道德教育の指導演法」「特別活動の理論と実践」「総合的な学習の時間の指導演法」「生徒・進路指導演論」「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英米文学概論」「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」「多文化理解概論」「英語学概論」「英語文法論」「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「英語プレゼンテーション」「教育相談」「教育実習Ⅰ(中)」「教育実習Ⅱ(中)」「教育実習指導Ⅰ(中)」「教育実習指導Ⅱ(中)」「教職実践演習(幼・小・中)」の全ての単位を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・担当学年変更のため「教職入門Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授3」に変更。
- ・担当学年変更のため「教職入門Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授3」に変更。
- ・担当学年変更のため「教職入門Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当学年変更のため「教職入門Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・奥泉講師の職位変更のため「教職論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・免許法施行規則の改正に対応し「教育方法・技術論」の名称を、「教育方法・技術論（情報通信技術の活用を含む。）」に変更。
- ・教職課程認定申請における指摘対応のため「総合的な学習の時間の指導法」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・山口由美子兼任講師が専任教員となったため、「初等教科教育法（算数）」「算数」の専任教員等の配置を「兼任1」から「講師1」に変更。
- ・教職課程認定申請における指摘対応のため「初等教科教育法（音楽）」の専任教員等の配置を「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・階戸陽太兼任准教授の退職及び藤居真路准教授の就任に伴い、「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・奥泉敦司講師の職位変更のため「保育原理」「保育者論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・竹澤賢樹准教授の退職に伴い、「子ども家庭福祉」「社会的養護Ⅰ」「子ども家庭支援論」「社会的養護Ⅱ」「スクールソーシャルワーク論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任は未定。
- ・教職課程の事後調査対応のため、「保育内容（健康）」「保育内容（人間関係）」「保育内容（環境）」「保育内容（ことば）」「保育内容（表現）」「保育内容演習（健康）」「保育内容演習（人間関係）」「保育内容演習（環境）」「保育内容演習（ことば）」「保育内容演習（表現）」の科目名称を「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現」「保育内容指導法（健康）」「保育内容指導法（人間関係）」「保育内容指導法（環境）」「保育内容指導法（言葉）」「保育内容指導法（表現）」に変更。
- ・竹澤賢樹准教授の退職に伴い、「社会福祉」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請における指摘対応のため「保育内容指導法（健康）」の専任教員等の配置を「兼任0」から「兼任1」に変更。
- ・教職課程認定申請における指摘対応のため「保育内容指導法（表現）」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・塚崎玲子准教授の退職に伴い、「英米文学概論」「英米文学史」「英米文学講読」「英米文学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
- ・塚崎玲子准教授の退職に伴い、「文化比較論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・小島ジョニー兼任講師の退職及び藤居真路准教授の就任に伴い、「英語プレゼンテーション」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・奥泉敦司講師の職位変更に伴い、「多文化共生社会と保育」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2」に変更。
- ・教育効果を考え、「チーム学校」と学校組織マネジメント」の開設時期を「2年前期」から「1年後期」に変更。
- ・奥泉敦司講師の職位変更に伴い、「保育インターンシップ」「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師2」から「講師1」へ変更。
- ・竹澤賢樹准教授の退職に伴い、「保育実習Ⅰ（施設）」「保育実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・奥泉敦司講師の職位変更に伴い、「保育実習Ⅲ」「保育実習指導Ⅲ」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・奥泉敦司講師の職位変更に伴い、「教育実習Ⅰ（幼）」「教育実習Ⅱ（幼）」「教育実習指導Ⅰ（幼）」「教育実習指導Ⅱ（幼）」「保育・教職実践演習（幼）」の専任教員等の配置を「講師2」から「准教授2」に変更。
- ・竹澤賢樹准教授及び塚崎玲子准教授の退職、奥泉敦司講師の職位変更に伴い、「教育学基礎セミナーⅠ」「教育学基礎セミナーⅡ」「教育学セミナーⅠ」「教育学セミナーⅡ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授4」、「講師5」から「講師4」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
27 科目	110 科目	0 科目	137 科目	27 科目 [0]	110 科目 [0]	0 科目 [0]	137 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{137} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	◆共用する他の学校 金沢学院短期大学 (必要面積：3,200㎡) ◆運動場用地(専用)借用面積:1,386㎡、期間:25年 ◆その他(共用)借用面積：919㎡、借用期間10年 1,978㎡、借用期間21年(女子学生寮等)			
	校舎敷地	0㎡	82,501㎡	0㎡	82,501㎡				
	運動場用地	35,590㎡	10,612㎡	0㎡	46,202㎡				
	小 計	35,590㎡	93,113㎡	0㎡	128,703㎡				
	そ の 他	31,610㎡	9,639㎡	0㎡	41,249㎡				
	合 計	67,200㎡	102,752㎡	0㎡	169,952㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	金沢学院短期大学と併用 (必要面積:3,650㎡)				
	(16,288㎡)	(16,984㎡)	(5,107㎡)	(38,379㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体(一部、金沢学院短期大学と共用)			
	50室	13室	43室	13室 (補助職員 3人)	3室 (補助職員 2人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	教育学部 教育学科			18 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	教育学部 教育学科	105,095 [15,134] (100,363 [15,110])	15 [0] (15 [0])	0 [0] (0 [0])	2,129 (1,925)	7,725 (7,708)	74 (74)		
計	105,095 [15,134] (100,363 [15,110])	15 [0] (15 [0])	0 [0] (0 [0])	2,129 (1,925)	7,725 (7,708)	74 (74)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	2,755 ㎡		335 席		229,914 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	3,391 ㎡		屋 内 練 習 場 テ ニ ス コ ー ト						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	1,500千円	1,500千円	1,500千円	
		共同研究費等	900千円	900千円	設備購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,320千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	金沢学院大学						学生募集停止学科数	6	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部											
文学科	4	180	3年次 ₈	736	学士(文学)	1.14	1.08	令和3	平成27	石川県金沢市末町10の5番地	定員変更(30)
日本文学専攻	4	60	(便宜上) ₄	248	学士(文学)	1.13	1.23	令和3	平成27	同上	定員変更(10)
英米文学専攻	4	30		120	学士(文学)	0.62	0.36	-	平成27	同上	
歴史学専攻	4	50	(便宜上) ₄	208	学士(文学)	1.37	1.12	令和3	平成27	同上	定員変更(10)
心理学専攻	4	40		160	学士(文学)	1.32	1.37	令和3	平成27	同上	定員変更(10)
教育学科	4	-	-	-	学士(教育学)	-	-	-	平成30	同上	令和4年より学生募集停止
教育学部											
教育学科	4	70	3年次 ₅	290	学士(教育学)	1.02	1.02	-	令和4	同上	
経営情報学部											
経営ビジネス学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成18	同上	平成28年より学生募集停止
経営システム学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成18	同上	平成28年より学生募集停止
経営情報学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	-	平成28	同上	令和2年より学生募集停止
経済学部											
経済学科	4	80	3年次 ₅	330	学士(経済学)	1.00	1.00	令和4	令和2	同上	定員変更(30)
経営学科	4	60	3年次 ₅	250	学士(経営学)	1.31	1.37	令和4	令和2	同上	定員変更(10)
経済情報学部											
経済情報学科	4	70	-	280	学士(経済情報学)	1.09	1.05	-	令和2	同上	
芸術学部											
芸術学科	4	70	3年次 ₂	284	学士(芸術学)	1.14	1.04	-	平成28	同上	
人間健康学部											
スポーツ健康学科	4	-	-	-	学士(スポーツ健康学)	-	-	-	平成23	同上	令和3年より学生募集停止
健康栄養学科	4	-	-	-	学士(栄養学)	-	-	-	平成28	同上	令和3年より学生募集停止
スポーツ科学部											
スポーツ科学科	4	150	3年次 ₁₀	620	学士(スポーツ科学)	1.14	1.15	-	令和3	同上	
栄養学部											
栄養学科	4	80	3年次 ₅	330	学士(栄養学)	1.06	1.10	-	令和3	同上	
大学全体	-	800	40	3280	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢学院大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
大学院経営情報学研究科											
経営情報学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士 (経営情報学)	0.35	0.40	-	平成11	石川県金沢市末町10の5番地及びサテライト教室(石川県金沢市南町3番1号 南町中央ビル)	
経営情報学専攻(博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (経営情報学)	0.08	0.00	-	平成17		
大学院人文学研究科											
人文学専攻(修士課程)	2	5	-	10	修士 (文学)	0.40	0.60	-	平成20	石川県金沢市末町10の5番地	
大学院スポーツ健康学研究科											
スポーツ健康学専攻(修士課程)	2	5	-	10	修士 (スポーツ健康学)	0.40	0.20	-	平成27	同上	
大学院全体	-	24	-	52	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	金沢学院短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
幼児教育学科	年	人	年次人	人	短期大学士(幼児教育学)	倍	倍	-	平成30	石川県金沢市末町10の5番地	
現代教養学科	2	50	-	100	短期大学士(教養)	0.86	0.76	-	平成28	同上	
食物栄養学科	2	60	-	120	短期大学士(栄養学)	1.13	1.22	-	平成17	同上	
短期大学全体	-	160	-	320	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	多田 孝志 (76) <令和4年4月> 博士(学校教育学)
		総合的な学習の時間の指導法 初等教科教育法(国語) 保育内容(ことば) 保育内容演習(ことば) 国語(書写含む) 国際理解教育概論 多文化理解概論 グローバル対話論 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
		米澤 利明 (69) <令和4年4月> 教育学修士
専	教授	特別活動の理論と実践 総合的な学習の時間の指導法 初等教科教育法(理科) 理科 「チーム学校」と組織マネジメント 地域協働と学校の役割 教育実習Ⅰ(中) 教育実習Ⅱ(中) 教育実習指導Ⅰ(中) 教育実習指導Ⅱ(中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
		笠間 弘美 (62) <令和4年4月> MATESL(米国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語学概論 英語文法論 英語文法演習 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	多田 孝志 (76) <令和4年4月> 博士(学校教育学)
		総合的な学習の時間の指導法 初等教科教育法(国語) 幼児と言葉 保育内容指導法(言葉) 国語(書写含む) 国際理解教育概論 多文化理解概論 文化比較論 グローバル対話論 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
		米澤 利明 (69) <令和4年4月> 教育学修士
専	教授	特別活動の理論と実践 総合的な学習の時間の指導法 初等教科教育法(理科) 理科 「チーム学校」と組織マネジメント 地域協働と学校の役割 教育実習Ⅰ(中) 教育実習Ⅱ(中) 教育実習指導Ⅰ(中) 教育実習指導Ⅱ(中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
		笠間 弘美 (62) <令和4年4月> MATESL(米国)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語学概論 英語文法論 英語文法演習 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐田東 彰 (59) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教育心理学 保育の心理学 子どもの理解と援助 幼児理解と教育相談 ICT活用とインクルーシブ教育 特別支援教育総論 教育相談 障がい児保育 障がい児教育 学校インターンシップ 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	教授	小嶋 祐侘郎 (65) <令和4年4月> 教育学修士
		初等教科教育法(社会) 社会
専	教授	田邊 俊治 (68) <令和4年4月> 教育学修士
		教育原理 教育経営概論 地域協働と学校の役割

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐田東 彰 (59) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教育心理学 保育の心理学 子どもの理解と援助 幼児理解と教育相談 ICT活用とインクルーシブ教育 特別支援教育総論 教育相談 障がい児保育 障がい児教育 学校インターンシップ 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	教授	小嶋 祐侘郎 (65) <令和4年4月> 教育学修士
		総合的な学習の時間の指導法 初等教科教育法(社会) 社会
専	教授	田邊 俊治 (68) <令和4年4月> 教育学修士
		教育原理 教育経営概論 地域協働と学校の役割
専	准教授	奥泉 敦司 (34) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教職論 保育原理 保育者論 多文化共生社会と保育 保育インターンシップ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習指導Ⅰ(幼) 教育実習指導Ⅱ(幼) 保育・教職実践演習(幼) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	木村 昭雄 (66) <令和4年4月> 教育学修士	専	准教授	木村 昭雄 (66) <令和4年4月> 教育学修士
		教育課程論 道徳教育の指導法 総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 初等教科教育法(国語) 地域協働と学校の役割 教育実習Ⅰ(中) 教育実習Ⅱ(中) 教育実習指導Ⅰ(中) 教育実習指導Ⅱ(中) 教職実践演習(幼・小・中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究			教育課程論 道徳教育の指導法 生徒・進路指導論 初等教科教育法(国語) 地域協働と学校の役割 教育実習Ⅰ(中) 教育実習Ⅱ(中) 教育実習指導Ⅰ(中) 教育実習指導Ⅱ(中) 教職実践演習(幼・小・中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	准教授	塚崎 玲子 (60) <令和4年4月> 文学修士	専	准教授	
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英米文学概論 英米文学史 英米文学講読 英米文学演習 文化比較論 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究			
専	准教授	米川(平石) 泉子 (41) <令和4年4月> 修士(教育学)	専	准教授	米川(平石) 泉子 (41) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教育課程論 保育課程論 保育内容総論 保育内容(人間関係) 保育内容演習(人間関係) 幼児・児童文化 多文化共生社会と保育 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習指導Ⅰ(幼) 教育実習指導Ⅱ(幼) 保育・教職実践演習(幼) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究			教育課程論 保育課程論 保育内容総論 幼児と人間関係 保育内容指導法(人間関係) 幼児・児童文化 多文化共生社会と保育 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習指導Ⅰ(幼) 教育実習指導Ⅱ(幼) 保育・教職実践演習(幼) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹澤 賢樹 (52) <令和4年4月> 修士(社会福祉学)
		教職入門Ⅲ 教職入門Ⅳ 子ども家庭福祉 社会福祉 社会的養護Ⅰ 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅱ 多文化共生社会と保育 スクールソーシャルワーク論 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅲ 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	准教授	
専	准教授	村松 麻里 (47) <令和4年4月> 修士(異文化コミュニケーション学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 初等教科教育法(英語) 小学校英語 言語習得研究 海外英語教材比較研究 小学校英語教育概論 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 多文化共生社会と保育 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	
専	准教授	藤居 真路 (59) <令和4年4月> 博士(教育学)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ 英語プレゼンテーション
専	准教授	村松 麻里 (47) <令和4年4月> 修士(異文化コミュニケーション学)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 初等教科教育法(英語) 小学校英語 言語習得研究 海外英語教材比較研究 小学校英語教育概論 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 多文化共生社会と保育 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	家崎 萌 (38) <令和4年4月> 博士(学校教育学)
		初等教科教育法(図画工作) 保育内容(表現) 保育内容演習(表現) 図画工作 多文化共生社会と保育 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	講師	奥泉 敦司 (34) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 教職論 保育原理 保育者論 多文化共生社会と保育 保育インターンシップ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習指導Ⅰ(幼) 教育実習指導Ⅱ(幼) 保育・教職実践演習(幼) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	講師	小平 豊彦 (68) <令和4年4月> 教育学士
		教職入門Ⅲ 教職入門Ⅳ 体育理論 初等教科教育法(体育) 地域協働と学校の役割 学校インターンシップ 教育実習(小) 教育実習指導(小) 教職実践演習(幼・小・中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	家崎 萌 (38) <令和4年4月> 博士(学校教育学)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 初等教科教育法(図画工作) 幼児と表現 保育内容指導法(表現) 図画工作 多文化共生社会と保育 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	講師	
専	講師	小平 豊彦 (68) <令和4年4月> 教育学士
		教職入門Ⅲ 教職入門Ⅳ 体育理論 初等教科教育法(体育) 地域協働と学校の役割 学校インターンシップ 教育実習(小) 教育実習指導(小) 教職実践演習(幼・小・中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	森 舞 (40) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅲ 教職入門Ⅳ 初等教科教育法(音楽) 保育内容(表現) 保育内容演習(表現) 表現演習Ⅰ 音楽基礎 多文化共生社会と保育 保育インターンシップ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習指導Ⅰ(幼) 教育実習指導Ⅱ(幼) 保育・教職実践演習(幼) 教職実践演習(幼・小・中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	講師	山口 眞希 (48) <令和4年4月> 修士(学術)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ コンピュータ基礎演習 教育方法・技術論 総合的な学習の時間の指導法 ICT活用教育概論 デジタル教材開発 ICT活用とインクルーシブ教育 教育実習(小) 教育実習指導(小) 教職実践演習(幼・小・中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	森 舞 (40) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅲ 教職入門Ⅳ 初等教科教育法(音楽) 幼児と表現 保育内容指導法(表現) 表現演習Ⅰ 音楽基礎 多文化共生社会と保育 保育インターンシップ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習指導Ⅰ(幼) 教育実習指導Ⅱ(幼) 保育・教職実践演習(幼) 教職実践演習(幼・小・中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	講師	山口 眞希 (48) <令和4年4月> 修士(学術)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ コンピュータ基礎演習 教育方法・技術論 総合的な学習の時間の指導法 ICT活用教育概論 デジタル教材開発 ICT活用とインクルーシブ教育 教育実習(小) 教育実習指導(小) 教職実践演習(幼・小・中) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	講師	山口 由美子 (67) <令和4年4月> 教育学修士
		初等教科教育法(算数) 算数

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	枝元 香菜子 (31) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 体育実技 体育Ⅰ 保育内容(健康) 保育内容演習(健康) 体育Ⅱ(リズムダンス) 地球市民論 多文化共生社会と保育 学校インターンシップ 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習指導Ⅰ(幼) 教育実習指導Ⅱ(幼) 教育実習(小) 教育実習指導(小) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	助教	松下(吉岡)明日香 (31) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅲ 教職入門Ⅳ 保育内容(環境) 保育内容演習(環境) 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 表現演習Ⅱ 多文化共生社会と保育 保育インターンシップ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習(幼) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
兼任	准教授	階戸 陽太 (52) <令和4年4月> 博士(教育学)
		英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ
兼任	准教授	中村 直行 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		哲学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	枝元 香菜子 (31) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅰ 教職入門Ⅱ 体育実技 体育Ⅰ 幼児と健康 保育内容指導法(健康) 体育Ⅱ(リズムダンス) 地球市民論 多文化共生社会と保育 学校インターンシップ 教育実習Ⅰ(幼) 教育実習Ⅱ(幼) 教育実習指導Ⅰ(幼) 教育実習指導Ⅱ(幼) 教育実習(小) 教育実習指導(小) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
専	助教	松下(吉岡)明日香 (31) <令和4年4月> 修士(教育学)
		教職入門Ⅲ 教職入門Ⅳ 幼児と環境 保育内容指導法(環境) 保育内容指導法(表現) 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ 表現演習Ⅱ 多文化共生社会と保育 保育インターンシップ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 保育・教職実践演習(幼) 教育学基礎セミナーⅠ 教育学基礎セミナーⅡ 教育学セミナーⅠ 教育学セミナーⅡ 卒業研究
兼任	准教授	
兼任	准教授	中村 直行 (57) <令和4年4月> 博士(文学)
		哲学

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	坂東 貴夫 (43) <令和4年4月> 博士(学術)
		English Writing
兼任	講師	小島 ジョニー (29) <令和4年4月> 修士(文学)
		英語プレゼンテーション
兼任	講師	高橋 栄一 (60) <令和4年4月> 修士(教育学)
		地理学
兼任	講師	徳永 美希 (37) <令和4年4月> 修士(食品栄養科学)
		子どもの食と栄養 家庭
兼任	講師	油谷 映美里 (48) <令和4年4月> 学士(家政学)
		初等教科教育法(家庭)
兼任	講師	上原 進 (63) <令和5年4月> 教育学士
		初等教科教育法(生活) 生活
兼任	講師	河田 史宝 (70) <令和4年4月> 修士(保健学)
		子どもの健康と安全
兼任	講師	島本 洋介 (44) <令和4年4月> 学士(経営学)
		生物多様性概説

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	坂東 貴夫 (43) <令和4年4月> 博士(学術)
		English Writing
兼任	准教授	松村 祐香里 (31) <令和4年4月> 修士(文学)
		英米文学概論 英米文学史 英米文学講読 英米文学演習
兼任	講師	高橋 栄一 (60) <令和4年4月> 修士(教育学)
		地理学
兼任	講師	徳永 美希 (37) <令和4年4月> 修士(食品栄養科学)
		子どもの食と栄養 家庭
兼任	講師	上原 進 (63) <令和5年4月> 教育学士
		初等教科教育法(生活) 生活
兼任	講師	河田 史宝 (70) <令和4年4月> 修士(保健学)
		子どもの健康と安全
兼任	講師	佐藤 ゆかり (58) <令和6年4月> 教育学修士
		初等教科教育法(家庭)
兼任	講師	島本 洋介 (44) <令和4年4月> 学士(経営学)
		生物多様性概説

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	砂山 真喜子 (54) <令和4年4月> 社会学士
		子ども家庭支援の心理学 子育て支援
兼任	講師	高他 毅 (62) <令和4年4月> 文学士
		社会学
兼任	講師	武村 敏幸 (64) <令和4年4月> 法学修士
		日本国憲法
兼任	講師	西村 真実子 (68) <令和4年4月> 看護学学士
		子どもの保健
兼任	講師	山口 由美子 (67) <令和4年4月> 教育学修士
		初等教科教育法(算数) 算数

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	砂山 真喜子 (54) <令和4年4月> 社会学士
		子ども家庭支援の心理学 子育て支援 社会福祉
兼任	講師	高木 香代子 (57) <令和5年4月> 教育学修士
		保育内容指導法(健康)
兼任	講師	高他 毅 (62) <令和4年4月> 文学士
		社会学
兼任	講師	武村 敏幸 (64) <令和4年4月> 法学修士
		日本国憲法
兼任	講師	西村 真実子 (68) <令和4年4月> 看護学学士
		子どもの保健
兼任	講師	乗富 章子 (71) <令和5年4月> 教育学士
		初等教科教育法(音楽)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・教職課程の事後調査対応のため、多田孝志教授の担当科目「保育内容（ことば）」「保育内容演習（ことば）」の科目名称を「幼児と言葉」「保育内容指導法（言葉）」に、米川泉子准教授の担当科目「保育内容（人間関係）」「保育内容演習（人間関係）」の科目名称を「幼児と人間関係」「保育内容指導法（人間関係）」に、家崎萌講師及び森舞講師の担当科目「保育内容（表現）」「保育内容演習（表現）」の科目名称を「幼児と表現」「保育内容指導法（表現）」に、枝元香菜子助教の担当科目「保育内容（健康）」「保育内容演習（健康）」の科目名称を「幼児と健康」「保育内容指導法（健康）」に、松下明日香助教の担当科目「保育内容（環境）」「保育内容演習（環境）」の科目名称を「幼児と環境」「保育内容指導法（環境）」に変更。・塚崎玲子准教授の退職に伴い、担当科目の「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を藤居真路准教授の担当科目に追加、「英米文学概論」「英米文学史」「英米文学講読」「英米文学演習」を松村祐香里兼准教授の担当科目に、「文化比較論」を多田孝志教授の担当科目に追加。・教職課程認定申請の指摘対応のため木村昭雄准教授の担当科目から「総合的な学習の時間の指導法」を外し、小嶋祐一郎教授の担当科目に追加。・奥泉敦司講師の昇格により職位を准教授に変更。・担当学年変更のため、米川泉子准教授及び村松麻里准教授の担当科目から「教職入門Ⅰ」「教職入門Ⅱ」を外し、家崎萌講師の担当科目に追加。・竹澤賢樹准教授の退職に伴い、担当科目の「社会福祉」を砂山真喜子兼任講師の担当科目に追加。「子ども家庭福祉」「社会的養護Ⅰ」「子ども家庭支援論」「社会的養護Ⅱ」「スクールソーシャルワーク論」については後任は未定。・藤居真路准教授が就任。担当科目は「教職入門Ⅰ」「教職入門Ⅱ」「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」「英語プレゼンテーション」。・山口由美子兼任講師が専任講師に就任。担当科目は「初等教科教育法（算数）」「算数」。・教職課程認定申請の指摘対応のため松下明日香助教の担当科目に「保育内容指導法（表現）」を追加。・階戸陽太兼准教授の退職により、担当科目「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」を藤居真路准教授の担当科目に変更。・松村祐香里兼准教授が就任。担当科目は「英米文学概論」「英米文学史」「英米文学講読」「英米文学演習」。・小島ジョニー兼任講師の退職により、担当科目「英語プレゼンテーション」を藤居真路准教授の担当科目に変更。・教職課程認定申請の指摘対応のため油谷映美里兼任講師の担当科目「初等教科教育法（家庭）」を佐藤ゆかり兼任講師の担当科目に変更。・教職課程認定申請の指摘対応のため「保育内容指導法（健康）」の担当教員に高木香代子兼任講師を追加。・教職課程認定申請の指摘対応のため「初等教科教育法（音楽）」の担当教員に乗富章子兼任講師を追加。
--

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
6	5	5	2	18	0	6	5	5	2	18	0
(6)	(5)	(5)	(2)	(18)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	5	5	2	18	0	6	5	5	2	18	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授 65 教授以外 60 歳	7 名	8 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{7}{18} = \boxed{38.88} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	塚崎 玲子	R4.3	必修	英語Ⅰ	①	R4.3自己都合のため就任辞退（4）		
				必修	英語Ⅱ	①			
				選択	英米文学概論	②			
				選択	英米文学史	②			
				選択	英米文学講読	②			
				選択	英米文学演習	②			
				選択	文化比較論	①			
				必修	教育学基礎セミナーⅠ	①			
				必修	教育学基礎セミナーⅡ	①			
				必修	教育学セミナーⅠ	①			
				必修	教育学セミナーⅡ	①			
2	准教授	竹澤 賢樹	R4.3	必修	教職入門Ⅲ	①	R4.3自己都合のため就任辞退（4）		
				必修	教職入門Ⅳ	①			
				選択	子ども家庭福祉	③			
				選択	社会福祉	②			
				選択	社会的養護Ⅰ	③			
				選択	子ども家庭支援論	③			
				選択	社会的養護Ⅱ	③			
				選択	多文化共生社会と保育	①			
				選択	スクールソーシャルワーク論	③			
				選択	保育実習Ⅰ（施設）	①			
				選択	保育実習Ⅲ	①			
				選択	保育実習指導Ⅰ	①			
				選択	保育実習指導Ⅲ	①			
				必修	教育学基礎セミナーⅠ	①			
				必修	教育学基礎セミナーⅡ	①			
必修	教育学セミナーⅠ	①							
必修	教育学セミナーⅡ	①							
必修	卒業研究	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	14 科目	必修	14 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	16 科目	選択	6 科目	選択	5 科目	選択	5 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	30 科目	計	20 科目	計	5 科目	計	5 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし							
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2 人	必修	14 科目	必修	14 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	16 科目	選択	6 科目	選択	5 科目	選択	5 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	30 科目	計	20 科目	計	5 科目	計	5 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{18} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計					後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年4月に就任辞退した2名については、本人のやむを得ない事情により辞退することとなったと判断している。後任教員については、准教授1名、講師1名を任用している。社会福祉学関係の科目は現在、併設する短期大学の教員の担当としているが、社会福祉学関係を専門とする教員を採用予定としているところである。
 このように、専任教員の辞退による学生の履修に関する不都合は生じていない。また、教員が辞退することについて、学生便覧やシラバス等も適正に修正を行っており、学生が混乱することはなかったと考える。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。(文学部教育学科)	指摘事項 (改善)	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	多くの専任教員が就任辞退又は辞任しているが、原因分析や改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。(栄養学部栄養学)	指摘事項 (改善)	履行中

<p>設置計画履行状況 調査結果 (令和4年)</p>	<p>定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(栄養学部栄養学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>現在、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用することに務めている。 その結果、令和3年5月1日現在、定年を延長して採用している教員数が41.66%であったものが、令和4年5月1日現在、36.36%に改善している。しかし、依然として高い割合であることより、今後も取り組みを継続する計画である。(4)</p>	<p>履行中</p>	<p>履行状況に記載した経験豊富な60歳以上の教員が30～40歳代の若手教員に知識や経験を伝え、定年に関する規定を遵守することを第一に、30～40歳代の准教授、講師あるいは助教を採用する計画としている。その際、年齢構成が偏らないような人員計画としていく予定である。(4)</p>
-------------------------------------	---	----------------------	---	------------	---

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、FD活動は、学長指揮のもとで大学改革を推進するための学内組織「教育開発センター」が取り組むプロジェクトの1つに位置付けられており、これらを推進する組織として副学長を委員長とする大学FD委員会を全学的な委員会として設置し、活動を行っている。また、SD活動についても、大学FD委員会や担当事務職員が中心となり、FD活動との連携を重視しながら計画的に実施している。

※関係規程等

○金沢学院大学ファカルティ・デベロップメント(FD)委員会規程
施行 平成20年4月1日
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規程は、金沢学院大学学則第24条の2並びに学校法人金沢学院評価委員会規程第8条の定めに基づき、金沢学院大学(以下「本学」という。)に設置するファカルティ・デベロップメント(FD)委員会(以下「委員会」という。)について、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(任務)</p> <p>第2条 委員会は、本学の教育研究活動の向上に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、次の事項を審議し、必要に応じて教学審議会の議に付する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) FD活動の企画立案 (2) FD活動の実施計画の立案 (3) FD活動の点検 (4) FD活動に関する情報の収集と提供 (5) その他、理事長・学長の諮問する事項 <p>2 委員会の承認のもとに、年度ごとに必要に応じた分野の小委員会を設ける。なお、小委員会は、委員会に検討・実施事項を報告するものとする。</p> <p>3 委員会が必要と認める場合、併設校である金沢学院短期大学FD委員会と連携することができる。</p> <p>(構成)</p> <p>第3条 委員会は、原則として、次の各号に定める委員を以て組織する。ただし、必要がある場合、第3項が規定する小委員会委員の中から若干名を加えることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)委員長 (2)委員(小委員長) 若干名 <p>2 前項の委員長は学長が任命し、委員は委員長が委嘱する。</p> <p>3 委員は、原則5名以内の小委員会委員を以て各小委員会を組織する。</p> <p>(任期)</p> <p>第4条 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(会議)</p> <p>第5条 委員会は、委員長が招集し、議長となる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 委員長に事故あるときは、予め委員長が指名した委員がその職務を代行する。 3 委員会が必要と認めた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。 <p>(事務)</p> <p>第6条 委員会に係る事務は、教務部が所掌する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成20年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成23年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成25年4月1日から施行する。</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成26年4月1日から施行する。</p>

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度は、副学長を中心として各学部や事務職員から選出された委員からなる全学FD委員会を組織し、FD活動を教育開発センターのプロジェクトの1つに位置づけて取り組んだ。新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、委員を集めての会議はあまり実施していないが、必要に応じて書面付議による審議を行い、活動については、隔週で開催されている教育開発センター会議に委員長やプロジェクトリーダーが出席し、報告や意見聴取等を行った。

c 委員会の審議事項等

教員の教育力の一層の向上を目指し、教育の実質化を図るために、定期的開催するFD/S D研修会の企画について議論を重ねている。また、FDについてはピアレビュー改革プロジェクトを中心に、授業評価アンケートやピアレビューの実施方法について見直し、評価結果について集計・分析も実施している。

S Dについては、各部署の業務や、外部の研修会で得た知識等を共有できるような研修のあり方について、議論を重ねた。

② 実施状況

a 実施内容

- ①教員相互の授業参観及びピアレビュー
- ②授業評価アンケート
- ③FD/S D研修会

b 実施方法

- ①前年度後期に引き続き、すべての授業期間をピアレビュー期間に設定し、教員全員がピアレビューのために授業を公開して、空き時間のある教員が参観した。その後、授業者とレビューアによる意見交換の場を設けることとした。
- ②前期及び後期の2回、各期末に11項目の質問と自由記述によるオンラインアンケート調査を実施した。
- ③FD研修会・S D研修会

令和3年度は以下の要領で、併設の金沢学院短期大学と合同で全学的な研修会を実施した。

第1回FD/S D研修会

日時：令和4年2月18日（金）16:00-17:00
内容：学生の学修環境の改善と授業改善について（教育力の向上）
※ Google Meet によるオンライン開催

第2回FD/S D研修会

日時：令和4年2月25日（金）15:00-16:30
内容：障害学生支援における合理的配慮の基本的な考え方と支援体制（障がい学生支援）
※ Zoom によるオンライン開催
※ 本研修会は、石川県障がい学生等共同サポートセンターと連携し、同センター主催の「第14回障がい学生支援セミナー」との共催とした。

上記の他、新任教員研修を3回開催している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員相互のピアレビューは全教員を対象に実施しており、授業アンケートも全教員が対象となっている。FD研修会およびS D研修会への参加については、学長がリーダーシップをもって全員参加を呼び掛けている。そのため、やむを得ない出張や会議あるいは当番職員を除いて、必ず1回は研修会に参加できるよう工夫し、ほぼ全員が出席できるようにしている。各研修会の出席状況については以下のとおりである。

第1回FD/S D研修会 出席者120名（大学教員98名 短大教員20名 事務職員1名 附属高校教員1名）
第2回FD/S D研修会 出席者102名（大学教員81名 短大教員17名 事務職員4名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

これまで実施してきたピアレビューについては、全ての授業回を参観可とし、参観後は相互もしくはチームでディスカッションを行い、振り返りを重視することとしている。

また、平成30年度から準備を進めてきたアセスメントポリシーの策定に伴い、評価の適正化をはかるため、ルーブリックの導入も進めている。

今年度の研修会では、学生を取り巻く学修環境に注目し、前期に実施した授業アンケートの結果に基づいて、本学LMSの利用等ICT教育インフラの活用や、教員の板書・スライド教材のあり方など、学生からの要望が多かった点について重点的に取り上げた。障がいのある学生の修学支援については、石川県障がい学生等共同サポートセンターと連携し、「障がい学生支援セミナー」への参加を広く学内に呼びかけた。当日はセミナー会場である金沢美術工芸大学とオンラインで結び、修学支援の実務経験を有する外部講師による事例報告を中心とした講演を視聴した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期及び後期の2回実施した。各期末に11項目の質問と自由記述欄を設けたオンラインアンケートを作成してURLを学内ポータルサイトに掲載した。学生には学内ポータルサイト及び各科目担当教員から呼びかけて、回答を求めた。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果については、教育開発センター会議において報告がされている。その内、早期対応が必要と思われる教員や授業については、学長の指示のもとで個別に指導・対応をしている。

なお、アンケートの集計結果については本学ホームページ「情報公開」において、学部・学科間での比較ができるような形で公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>教育学部教育学部は多様に変化する時代に合った教員を育成することを目的として、平成30年4月に開設した文学部教育学部を改組して、今年度より開設した。文学部教育学部が完成年度を迎え、本学での教員養成に対する評価・認知度が上がり、安定した入学者数を確保できている。</p> <p>文学部教育学部同様、幼稚園教諭・保育士コース、幼稚園・小学校教諭コース、小学校・中学校教諭コースの3コースを設定し、1年次は、保育者や教員となるのに必要とされる基礎的知識や汎用的な知識の習得に主眼を置いて指導し、2年次以降は、それぞれのコースにおける専門知識等を身に付けるとともに、教育実習以外にも学校体験活動、ボランティア等の実践機会を多く提供し、卒業してすぐ現場で活躍できる人材の育成を目指して指導することとしている。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年5月末 公表（次回、令和7年9月末公表予定） <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・令和10年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無]</p> <p>≪ aで「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 <input checked="" type="radio"/> 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 []</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。